

平成30年度 第4回金谷区地域協議会

次 第

日時：平成30年7月25日(水)午後6時30分～

会場：青木町内会館

1 開 会

2 議題等の確認

3 報告

(1) 平成30年度地域活動支援事業について(報告)

4 議題

(1) 金谷区の地域団体との意見交換会のふりかえりについて

(2) 金谷区の地域課題「他団体や他地域との連携」の今後の進め方について

5 事務連絡

6 閉 会

※閉会后、傍聴者との意見交換

平成30年度地域活動支援事業 審査・採択結果（金谷区地域協議会）

資料No.1

【金谷区】の予算配分枠：8,500千円

※基本審査・優先採択審査の審査・採点委員数：13名

※共通審査の審査・採点委員数：16名

順位	整理No.	事業名	提案者名	事業費(千円)	補助希望額(千円)	評価結果												地域協議会の審査結果	特記事項
						基本審査		優先採択審査			共通審査								
						「適合する」の人数	「適合しない」の人数	結果	「該当する」の人数	「該当しない」の人数	公益性	必要性	実現性	参加性	発展性	合計	平均点		
1	5	里道(旧後谷線)の整備事業	後谷・名水桜清水の会	2,442	2,441	13	0	優先	13	0	73	72	72	68	67	352	22.0	採択	採択事業の補助希望額の合計が、金谷区の予算額を上回っていたことから、補助額を2,190千円に減額し採択
2	3	金谷区全域の防犯灯のLED化による住民の安全安心事業	金谷地区振興協議会	4,699	4,698	13	0	優先	13	0	72	70	71	69	67	349	21.8	採択	採択事業の補助希望額の合計が、金谷区の予算額を上回っていたことから、補助額を4,213千円に減額し採択
3	12	灰塚地区地域安全見守り事業	灰塚地区防犯協会	303	150	13	0	優先	13	0	70	66	64	65	59	324	20.3	採択	採択事業の補助希望額の合計が、金谷区の予算額を上回っていたことから、補助額を133千円に減額し採択
4	9	金谷フェス～BMX・音楽・食・アートの融合～事業	金谷フェス実行委員会	1,163	762	11	2	優先	9	4	68	60	65	61	66	320	20.0	採択	採択事業の補助希望額の合計が、金谷区の予算額を上回っていたことから、補助額を677千円に減額し採択
5	6	金谷区(灰塚駐在所管内)の交通安全確保事業	上越交通安全協会灰塚支部	205	200	13	0	優先	12	1	66	58	63	61	60	308	19.3	採択	採択事業の補助希望額の合計が、金谷区の予算額を上回っていたことから、補助額を177千円に減額し採択
6	13	金谷山太鼓 継承・振興事業	高田西小学校後援会	237	237	13	0	優先	13	0	66	60	59	60	59	304	19.0	採択	採択事業の補助希望額の合計が、金谷区の予算額を上回っていたことから、補助額を209千円に減額し採択
7	2	正善寺ダム周辺の紫陽花の維持管理及び水質保全と環境美化事業	正善寺紫陽花会	127	127	12	1	優先	12	1	63	61	62	56	55	297	18.6	採択	採択事業の補助希望額の合計が、金谷区の予算額を上回っていたことから、補助額を112千円に減額し採択
8	1	金谷地区児童のスポーツ振興及び子どもの健全育成を図る事業	上越南ミニバス教室	249	200	13	0	優先	11	2	60	58	62	55	60	295	18.4	採択	採択事業の補助希望額の合計が、金谷区の予算額を上回っていたことから、補助額を176千円に減額し採択
9	11	幼年野球活性化事業	南スナイパーズ	149	148	13	0	優先	11	2	58	54	60	59	54	285	17.8	採択	採択事業の補助希望額の合計が、金谷区の予算額を上回っていたことから、補助額を130千円に減額し採択
10	4	滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業	滝寺まちづくり協議会	250	250	13	0	優先	13	0	62	59	56	53	54	284	17.8	採択	採択事業の補助希望額の合計が、金谷区の予算額を上回っていたことから、補助額を219千円に減額し採択
11	8	金谷区飯支部の交通安全確保事業	上越交通安全協会飯支部	302	302	13	0	優先	13	0	61	56	59	52	51	279	17.4	採択	採択事業の補助希望額の合計が、金谷区の予算額を上回っていたことから、補助額を264千円に減額し採択
-	7	憩いの場「中笑亭」新設事業	はだしの会	793	790	4	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不採択	審査・採点者の過半数が基本審査で「適合しない」と判断したため（金谷区 平成30年度実施分募集要項 採択方針と審査基準(2)(7)）
-	10	金谷北地区 亀割清水修復・春日山古道散策会の実施事業	金谷北地区農村元気会	1,080	1,080	3	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不採択	審査・採点者の過半数が基本審査で「適合しない」と判断したため（金谷区 平成30年度実施分募集要項 採択方針と審査基準(2)(7)）
合計				11,998	11,385														

< 附帯意見 >

全ての採択する事業の提案者に対し、「採択した補助額により事業内容を精査し、確実に事業を実施してください。」と意見を付ける。

	採択件数	補助希望額
合計	11件	8,500千円

予算残額	-
------	---

金谷区の地域団体との意見交換会（平成30年6月20日実施） まとめ

資料No.2

1. 上越交通安全協会飯支部

①活動内容	○飯小学校に関するもののほか、正善寺工房イベントでの交通案内、各町内での自転車教室をしている。
②課題等	○小さな町内会から要望が上がって来ない。 ○役員会のマンネリ化、役員の固定化を解消したい。
③質問、意見	(なし)

2. 上越交通安全協会灰塚支部

①活動内容	○黒田小学校区11町内、高田西小学校区2町内（金谷、神山）で組織。 ○子どもたちの交通安全のために、春と秋に立哨をしている。 ○個人的に、山麓線での登校時の立哨を平成8年から毎日している。 ○交通安全が主な活動だが、不審者等の見守り活動もしている。
②課題等	○金谷区には、黒田小、飯小、高田西小と3つの小学校の校区がある中で、防犯協会・交通安全協会は灰塚支部、飯支部、高田南（中通町）の3つがあり、(校区と対応していないなど) ややこしい。
③質問、意見	質問1 交通安全協会と防犯協会と同じような活動があるとの話だが、すみ分けはできているか。 → 回答 交通安全協会は、一般財団法人。すみ分けはできているが、似たようなところは多々ある。

3. 金谷地区体育協会

①活動内容	○以前は夏の運動会や水泳大会など10種目ほどの体育活動をしていたが、参加者が減ってきたため、野球、ソフトボール、ソフトバレー、竹の子狩りの4種目に絞り活動している。竹の子狩りが人気。 ○金谷地区町内会長会から補助を受けている。
②課題等	○上部団体に上越市スポーツ協会があるが、協会に払う負担金より協会からの交付金の方が少ない。
③質問、意見	質問1 参加者が減ってきているとのことだが、今後の見通しや対策等はあるか。 → 回答 考えていない。野球やソフトボールをする子どもが少なくなっている。新しい種目も考えたいが、今のところは現在の4種目のまま。 質問2 若い世代の参加が少ないとのことだが、新しく引っ越してきた世代なども巻き込めたらよいと思う。役員に若い世代はいるか。 → 回答 若い方はいない。 また、行事は年4回あるが、参加するのは5～6町内程度で、昔から住んでいた方の参加がほとんど。以前は参加していた町内等も、いつの間にか参加してもらえなくなってしまった。 質問3 参加者を集める際の声かけはどのようにしているか。 → 回答 各町内の町内会長やスポーツ推進員から声かけをもらっているが、どの程度効果があるかはわからない。

4. 上越市第四地区民生委員・児童委員協議会

No. 1

①活動内容	○第四地区の委員は44名、そのうち金谷区の委員は19名。 ○生活する上で困っている高齢者などの相談相手になり、それを市、みんなできの地域包括支援センターなど、専門機関につないでいる。 ○見守りが必要な高齢者などへの定期訪問や、市高齢者支援課からの依頼で、避難行動要支援者名簿登録、外出支援助成、除雪費助成の申請等の手続きの取りまとめをしている。 ○主任児童委員が中心となり、学校や保育園などの行事に参加している。
②課題等	○民生委員・児童委員の存在を周知する必要がある（存在を知らなければ相談できないし、誤解から訪問されることを嫌がる人もいる）。 ○町内会などと情報を共有し、連携を深める必要がある。例えば、現在、避難行動要支援者名簿の登録の取りまとめをしているが、町内会とうまく連携できているところとそうでないところがある。 ○今年度から金谷区担当の地域包括支援センターが代わった。センター、地域、民生委員の三者で連携を図っていきたい。
③質問、意見	質問1 病児保育室が直江津にしかない。子の親から「そういったことで困っている」などの意見を聞いているか。 → 回答 個人としては、そういった意見は聞いていない。子育て関係のことも活動の対象だが、実際には高齢者の問題に関わることがほとんどである。 → 意見 子育て広場に行くなど、小さい子どもの親と情報交換をしてはどうか。子ども会や青年会の会合に行くのもよい。 最近の子どもは、家に帰った後は外で遊ばない。学校でソフトボールなどのスポーツもしない。見守りだけでよいのかと思う。そういったことも汲み取ってほしい。

5. 金谷地区老人クラブ連絡協議会

①活動内容	○市老連に加入している14クラブで活動（ここ2～3年で2クラブが減った）。 ○当協議会としては、年2回のゲートボール大会と年3回の各会長会合を行っており、他は各クラブ単位での活動になる。
②課題等	○各クラブでの活動が多いため、年に1回は交流のために集まりたいが、集まる場所がない。市全体で集まる機会として、以前は年3回春日山荘に集まり、講話を聴いたり踊りや映画を鑑賞したりしていたが、なくなってしまった。
③質問、意見	意見 老人クラブの全体の集まりがなくなったのは、市が手を離れたためだ。

金谷区の地域団体との意見交換会（平成30年6月20日実施） まとめ

No. 2

6. 金谷地区運動普及推進員協議会

①活動内容	○17名で活動している。 ○保育園運動会での体力測定活動（市の委託事業）、健診結果説明会での握力検査、すこやかサロンのお手伝い（年5回程度）、各町内でのお茶飲み会の実施（体操をした後お茶のみをして、ふれあいの場を作る）、食生活改善推進員が実施するふれあい昼食会で運動推進のPRをしている。
②課題等	○推進員に若い人がいない。65～70歳が主。 ○一人暮らしの高齢者が増えており、ほとんど外出しない。すこやかサロンやお茶のみ会に出てきてもらい、地域の人と知り合い、地域の人同士で声かけができる体制を作りたい。
③質問、意見	（なし）

7. 食生活改善推進委員

①活動内容	○25名で活動している。 ○生活習慣病予防教室を開催（今年度は健診会場で7会場、おさらい健診会場で8会場、健診結果説明会場で12会場）。食品に含まれる砂糖の量を分かりやすく説明するなどしている。 ○1歳児・1歳半児健診の際に、幼児の1日分の食事量を説明（今年度6会場）。 ○各町内でふれあい昼食会を開催（手作り弁当を食べてもらう）。
②課題等	○どうすれば食生活に興味を持ってもらえるか、工夫している。ビール1本分の糖分など、身近な品物を使っている。 ○ふれあい昼食会を開いているが、集まるのはお年寄りばかり。家庭でご飯を作っている方にも参加してもらいたい。
③質問、意見	（なし）

8. 上越市消防団金谷分団

①活動内容	○現在、金谷分団管内としては119名で活動している。 ○火災予防の啓もう活動（毎月1日、15日）、器具の点検、訓練、災害時の出動、地域行事への参加。
②課題等	○団員の確保が課題。20代の団員が少ない。若い団員を確保したい。
③質問、意見	質問1 新規入団者確保について、どのように取り組んでいるか。 → 回答 ある町内では、町内会長からふさわしいと思われる方を教えてもらい、声かけをしている。行事が日曜日にあることから、若い方は自分の時間を優先するため入団を敬遠される。また、結婚を機にやめる団員が多い。 質問2 団員が集まらないため、OBを準団員としてはどうか。 → 回答 市に要望している。以前はOBであれば消防車の運転はできたが、怪我をした時に補償できないため、現在はできない。 → 意見 中ノ俣では高齢化が進んでいるため、準団員を設けても対応できない。

9. 飯地区防犯協会

①活動内容	○飯小学校区14町内と、大貫、平山町内会で組織。 ○オレンジキャップ隊による見守り活動を実施。最近不審者情報が多いため、パトロールを強化している。 ○子どもの家から児童が帰宅する午後5時頃に各町内の見守り。 ○振り込め詐欺の防止。
②課題等	○オレンジキャップ隊の人数が少ない。
③質問、意見	質問1 交通安全協会と防犯協会と同じような活動があるとの話だが、すみ分けはできているか。 → 回答 防犯については、不審者対策として防犯パトロールをしている。新しくスーパーができたところはかなり明るくなり、夜になると若者が集まるようになった。また、車に乗ったまま声をかけたり写真を撮ったりする不審者がいるが、児童が車の特徴をうまく伝えることができないことも課題。

10. 灰塚地区防犯協会

①活動内容	○これまでは、登校時の見守りなど、交通安全を主眼とした見守り活動を行ってきた。 ○新潟市での事件を受け、黒田小学校区では、6月に保護者会、学校、後援会、灰塚駐在所、当協会が集まって今後の見守り活動について話し合い、今後、組織的なものを立ち上げて登下校時の見守り活動を実施しようとしている。 ○一人通学を減少させるため、市で通学路の見直しをしている。 ○不審者情報の共有について、駐在所と協議しながら進めている。
②課題等	○組織的な見守り活動の実施について、詳細をつめる必要あり。 ○子どもたちが公園で遊んでいるが、マナーが悪く子どもの声がうるさいと学校に話が来ているようだ。地域での理解が必要。
③質問、意見	（なし）

※団体全体に関する意見

意見1	年金支給の開始は現在65歳だが、今後は70歳、75歳になる可能性があり、働かないと食べていけない。働かないといけないため、若い方は参加したいができない状態。
意見2	消防団、町内会長、民生委員・児童委員は、待遇が悪いため誰もやりたがらない。町内会長や民生委員・児童委員は、行政が地域に降ろした仕事で、役割がどんどん重くなっているのに手当ては変わらない。